

使用上の注意改訂のお知らせ

2025年3月

ファイザー株式会社

抗アルドステロン性利尿・降圧剤
スピロラクトン細粒

アルダクトン[®]A細粒10%

Aldactone[®]-A Fine Granules 10%

日本薬局方 スピロラクトン錠

アルダクトン[®]A錠25mg

アルダクトン[®]A錠50mg

Aldactone[®]-A Tablets 25mg

Aldactone[®]-A Tablets 50mg

処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

標記製品の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」を次のとおり自主改訂いたしますのでご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、以下の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容】

改訂前			改訂後（下線部は改訂箇所）		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
省略			省略		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略			省略		
カリウム製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム アスパラギン酸カリウム等 ACE 阻害剤 カプトプリル エナラプリル リシノプリル等 アンジオテンシン II 受容体拮抗剤 ロサルタンカリウム カンデサルタンシレキセチル バルサルタン等 アリスキレン カリウム保持性利尿剤 トリアムテレン カンレノ酸カリウム シクロスポリン ドロスピレノン	高カリウム血症を誘発することがあるの で、血清カリウム値 を観察するなど十分 注意する。	これらの薬剤と 本剤の相加・相 乗作用による血 清カリウム値の 上昇。 危険因子：腎障 害患者、高齢者	カリウム製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム アスパラギン酸カリウム等 ACE 阻害剤 カプトプリル エナラプリル リシノプリル等 アンジオテンシン II 受容体拮抗剤 ロサルタンカリウム カンデサルタンシレキセチル バルサルタン等 アリスキレン カリウム保持性利尿剤 トリアムテレン カンレノ酸カリウム シクロスポリン ボクロスポリン ドロスピレノン	高カリウム血症を誘発することがあるの で、血清カリウム値 を観察するなど十分 注意する。	これらの薬剤と 本剤の相加・相 乗作用による血 清カリウム値の 上昇。 危険因子：腎障 害患者、高齢者
省略			省略		

【改訂理由】

自主改訂

「10.2 併用注意」の項

ボクロスポリン（ルプキネスカプセル/大塚製薬株式会社）の電子添文の「10.2 併用注意」の項にスピロノラクトンが記載されたことを受け、本剤の電子添文においてもボクロスポリンを追記し注意喚起を行うことにいたしました。

なお、本改訂は相互作用相手薬の電子添文との整合を目的とした改訂であり、弊社が実施した当該相互作用に関する臨床試験はありません。

《改訂内容につきましては医薬品安全対策情報（DSU）No.334（2025年3月）に掲載される予定です。》

お問い合わせ先：ファイザー株式会社 Pfizer Connect/メディカル・インフォメーション 0120-664-467

〒151-8589 東京都渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル

PMDA ウェブサイト「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）に最新の電子添文及び医薬品安全対策情報（DSU）が掲載されます。

また、ファイザー株式会社の医療関係者向けウェブサイト「ファイザーメディカル・インフォメーション」（<https://www.pfizermedicalinformation.jp/>）に製品情報を掲載しております。なお、以下の GS1 バーコードを「添文ナビ」で読み取ることで、もしくは以下の PMDA ウェブサイトより本製品の最新の電子添文等をご覧いただけます。

アルダクトン A 細粒 10%

アルダクトン A 錠 25mg/50mg



(01)14987114938807

PMDA ウェブサイト スピロノラクトン：<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/2133001>